

#### IV. 埋蔵文化財展・考古学セミナーの記録

## 平成27年度 埋蔵文化財展等の活動について

## 1 目的と概要

愛知県埋蔵文化財センターの発掘調査により出土した資料を広く公開するとともに、歴史講座や体験プログラムなど多彩な企画を通じて、県民の埋蔵文化財に対する理解を深め、文化財保護意識の向上を図ることを目的とした。

2015年度は、春に愛知県埋蔵文化財調査センターと共催し、新出土品展と重要文化財の特別公開を行った。夏も愛知県埋蔵文化財調査センターと共催し、愛知県教育委員会の協力のもと、バックヤードツアーと重要文化財の特別公開「赤と黒」をおこなった。秋には、愛知県埋蔵文化財調査センターの協力を得て、連続歴史講座を6回開催した。11月には、名古屋市博物館において、当センター・名古屋市博物館・名古屋市教育委員会文化財保護室の3者が主催する考古学セミナー『あいちの考古学2015』を行った。

## 2 埋蔵文化財新出土品展 「山の考古学」

1) 会場：愛知県埋蔵文化財調査センター

2) 会期

平成27年4月4日(土)から4月19日(日)

3) 展示会名

新出土品展 「やとみ新発見展！」

4) 開催趣旨

弥富市にある「愛知県埋蔵文化財調査センター」にて、「やとみ新発見展(しんはっけんでん)！」と題して、昨年度の発掘調査成果について、展示解説を実施。入館無料。

## 5) 内容

○埋文桜ニュース発行

○展示

2階 資料管理閲覧室

「考古楽さんぽ」展

—尾張国の城下町と街道—

2階 収蔵庫C

「新出土品展2015 山の考古学」

「土器クロニクル」展

1階 ロビー 2階 廊下 パネル展示

配布資料：埋文桜ニュース(遺跡の概要説明)

ペーパークラフト(パレス土器)

遺跡の紹介しおり

## 6) 考古楽縁日

開催日初日2日間は、弥富市社会教育センターで「やとみ春まつり」が開催されるのに合わせ、埋蔵文化財および当センターの活動を周知する目的で「考古楽市2015」を実施。

○縁日品目

弓、輪投げ、水風船、鯨面体験、写真撮影

\*縁日参加者数：828名

## 7) その他

外部より開館していることがわかるよう、布製の垂れ幕や、ノボリを多数設置。また「やとみ春まつり」会場にて、チラシの配布を行う。また、調査センター入り口付近においても、チラシの配布を行った。期間中、愛知県埋蔵文化財調査センターが国指定重要文化財である「朝日遺跡」の遺物を展示。

\*全期間中の来館者：923名

## ▼2015春の埋文展 入館者数と天気

|          | 小計   | 天気   |
|----------|------|------|
| 4月4日(土)  | 491  | 曇のち雨 |
| 4月5日(日)  | 337  | 雨    |
| 4月6日(月)  | 3    | 曇時々雨 |
| 4月7日(火)  | 22   | 曇一時雨 |
| 4月8日(水)  | 13   | 雨のち曇 |
| 4月9日(木)  | 5    | 曇    |
| 4月10日(金) | 3    | 曇のち雨 |
| 4月11日(土) | -    | 休館   |
| 4月12日(日) | -    | 休館   |
| 4月13日(月) | 1    | 雨    |
| 4月14日(火) | 9    | 雨    |
| 4月15日(水) | 12   | 曇    |
| 4月16日(木) | 7    | 曇    |
| 4月17日(金) | 8    | 曇のち晴 |
| 4月18日(土) | 6    | 曇    |
| 4月19日(日) | 6    | 曇時々雨 |
| 合計       | 923名 |      |



▲「埋文桜ニュース」



▲雨天の開催日



▲縁日の様子



▲やとみ新発見展"



▲縁日の様子



▲やとみ新発見展"



▲縁日の様子



▲やとみ新発見展"



▲縁日の様子

### 3 埋蔵文化財調査センター公開事業『夏の重要文化財特別公開』&バックヤードツアーと考古学体験

1) 実施日：平成27年 8月10日(月)

8月19日(水)

8月28日(金)

○バックヤードツアーおよび展示解説

午後1時から3時

○考古学体験

午前10時から12時

2) 内容

全て参加費無料。

○バックヤードツアーおよび展示解説

会場：全館

内容：日常の業務の紹介と展示解説

\*参加者総数21名

○考古学体験

会場：2階研修室ほか

内容：\*土器の拓本 \*土器の接合

\*参加者総数21名

3) 広報活動その他

今年度はバックヤードツアー開催日に、考古学体験を実施。また開催にあたり、年間のイベント予定を記したチラシを作成し、関係各所へ郵送したり、弥富市商工観光課を通じて近隣地域へ8月上旬に回覧を行うなど、広報活動を行った。

夏の重要文化財特別公開は、愛知県教育委員会の協力を得て、埋蔵文化財調査センターが実施したものである。



▲バックヤードツアー



▲バックヤードツアー



▲バックヤードツアー



▲考古学体験

考古学 2015

センター公開事業 『夏の重要文化財特別公開』  
『バックヤードツアーと考古学体験』

☆埋蔵文化財調査センター2号館の展示室から、選りすぐりの4点を展示します。これまでに展示されたものとは異なるものを展示します。また、期間中にバックヤードツアーや考古学体験を開催します。

展示期間：平成27年  
8月10日(月)～8月28日(金)

開館時間：10時から16時 土・日休館  
場所：愛知県埋蔵文化財調査センター 2号館 入館無料

※バックヤードツアー&展示解説 申し込み不要・参加無料  
普段見ることができない、埋蔵文化財調査センターのバックヤードをご案内します。  
その時々で、進行中の仕事があります。また、どんなところを見たいかをご案内いたします。  
開催日：平成27年8月10日(月)・8月19日(水)・8月28日(金)  
時 間：午前10時～2時 研修室にお越しください。

※考古学体験ワークショップ 申し込み不要・参加無料  
バックヤードツアーの先日は14時頃に、応和や実習時間ほか出土土器の整理作業を体験していただきます。  
開催日：平成27年8月10日(月)・8月19日(水)・8月28日(金)  
時 間：午後1時から午後3時 2階 受付前にお越しください。

家族の絆作り事業 『家族で歴史を体験発掘！』

☆遺跡の発掘体験を通じて、家族の絆を深めましょう！  
☆中学生以下のお子さんと一緒に参加ください。

開催日：平成27年 10月17日(土)

時間：午前9時から午後4時30分(予定)  
集合場所：JR飯田線 豊川駅東口(豊三河総合センターは10時30分)  
※発掘予定遺跡：香平遺跡(国史跡)を予定  
※対象：小学生とその家族  
※参加費：無料 家族の人数により、別途、お弁当・飲み物・タオルなどをご持参ください。  
※募集人員：12家族(35名程度)  
※募集期間：8月17日(月)から8月18日(金)先着順

【応募方法】  
はがきにて、参加される方すべてのお名前・年齢・ご住所・代表者の連絡先電話番号・希望の集合場所(豊川駅東口か豊三河総合センター)を明記の上、愛知県埋蔵文化財センターまでお送りください。  
先着順で受け付けを行います。応募者全員に参加の可否について連絡させていただきます。参加可能なご家族には、詳細についてご案内させていただきます。  
※申し込みの日に近い日曜日に申し込みは、遺跡・発掘現場やその周辺で開催いたします。

主な日程 8月17日(土) 8月18日(日)

9:00 9:30 10:00 10:30 11:00 11:30 12:00 12:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30 17:00 17:30 18:00 18:30 19:00 19:30 20:00 20:30 21:00 21:30 22:00 22:30 23:00 23:30 24:00 24:30 25:00 25:30 26:00 26:30 27:00 27:30 28:00 28:30 29:00 29:30 30:00 30:30 31:00 31:30 32:00 32:30 33:00 33:30 34:00 34:30 35:00 35:30 36:00 36:30 37:00 37:30 38:00 38:30 39:00 39:30 40:00 40:30 41:00 41:30 42:00 42:30 43:00 43:30 44:00 44:30 45:00 45:30 46:00 46:30 47:00 47:30 48:00 48:30 49:00 49:30 50:00 50:30 51:00 51:30 52:00 52:30 53:00 53:30 54:00 54:30 55:00 55:30 56:00 56:30 57:00 57:30 58:00 58:30 59:00 59:30 60:00 60:30 61:00 61:30 62:00 62:30 63:00 63:30 64:00 64:30 65:00 65:30 66:00 66:30 67:00 67:30 68:00 68:30 69:00 69:30 70:00 70:30 71:00 71:30 72:00 72:30 73:00 73:30 74:00 74:30 75:00 75:30 76:00 76:30 77:00 77:30 78:00 78:30 79:00 79:30 80:00 80:30 81:00 81:30 82:00 82:30 83:00 83:30 84:00 84:30 85:00 85:30 86:00 86:30 87:00 87:30 88:00 88:30 89:00 89:30 90:00 90:30 91:00 91:30 92:00 92:30 93:00 93:30 94:00 94:30 95:00 95:30 96:00 96:30 97:00 97:30 98:00 98:30 99:00 99:30 100:00 100:30 101:00 101:30 102:00 102:30 103:00 103:30 104:00 104:30 105:00 105:30 106:00 106:30 107:00 107:30 108:00 108:30 109:00 109:30 110:00 110:30 111:00 111:30 112:00 112:30 113:00 113:30 114:00 114:30 115:00 115:30 116:00 116:30 117:00 117:30 118:00 118:30 119:00 119:30 120:00 120:30 121:00 121:30 122:00 122:30 123:00 123:30 124:00 124:30 125:00 125:30 126:00 126:30 127:00 127:30 128:00 128:30 129:00 129:30 130:00 130:30 131:00 131:30 132:00 132:30 133:00 133:30 134:00 134:30 135:00 135:30 136:00 136:30 137:00 137:30 138:00 138:30 139:00 139:30 140:00 140:30 141:00 141:30 142:00 142:30 143:00 143:30 144:00 144:30 145:00 145:30 146:00 146:30 147:00 147:30 148:00 148:30 149:00 149:30 150:00 150:30 151:00 151:30 152:00 152:30 153:00 153:30 154:00 154:30 155:00 155:30 156:00 156:30 157:00 157:30 158:00 158:30 159:00 159:30 160:00 160:30 161:00 161:30 162:00 162:30 163:00 163:30 164:00 164:30 165:00 165:30 166:00 166:30 167:00 167:30 168:00 168:30 169:00 169:30 170:00 170:30 171:00 171:30 172:00 172:30 173:00 173:30 174:00 174:30 175:00 175:30 176:00 176:30 177:00 177:30 178:00 178:30 179:00 179:30 180:00 180:30 181:00 181:30 182:00 182:30 183:00 183:30 184:00 184:30 185:00 185:30 186:00 186:30 187:00 187:30 188:00 188:30 189:00 189:30 190:00 190:30 191:00 191:30 192:00 192:30 193:00 193:30 194:00 194:30 195:00 195:30 196:00 196:30 197:00 197:30 198:00 198:30 199:00 199:30 200:00 200:30 201:00 201:30 202:00 202:30 203:00 203:30 204:00 204:30 205:00 205:30 206:00 206:30 207:00 207:30 208:00 208:30 209:00 209:30 210:00 210:30 211:00 211:30 212:00 212:30 213:00 213:30 214:00 214:30 215:00 215:30 216:00 216:30 217:00 217:30 218:00 218:30 219:00 219:30 220:00 220:30 221:00 221:30 222:00 222:30 223:00 223:30 224:00 224:30 225:00 225:30 226:00 226:30 227:00 227:30 228:00 228:30 229:00 229:30 230:00 230:30 231:00 231:30 232:00 232:30 233:00 233:30 234:00 234:30 235:00 235:30 236:00 236:30 237:00 237:30 238:00 238:30 239:00 239:30 240:00 240:30 241:00 241:30 242:00 242:30 243:00 243:30 244:00 244:30 245:00 245:30 246:00 246:30 247:00 247:30 248:00 248:30 249:00 249:30 250:00 250:30 251:00 251:30 252:00 252:30 253:00 253:30 254:00 254:30 255:00 255:30 256:00 256:30 257:00 257:30 258:00 258:30 259:00 259:30 260:00 260:30 261:00 261:30 262:00 262:30 263:00 263:30 264:00 264:30 265:00 265:30 266:00 266:30 267:00 267:30 268:00 268:30 269:00 269:30 270:00 270:30 271:00 271:30 272:00 272:30 273:00 273:30 274:00 274:30 275:00 275:30 276:00 276:30 277:00 277:30 278:00 278:30 279:00 279:30 280:00 280:30 281:00 281:30 282:00 282:30 283:00 283:30 284:00 284:30 285:00 285:30 286:00 286:30 287:00 287:30 288:00 288:30 289:00 289:30 290:00 290:30 291:00 291:30 292:00 292:30 293:00 293:30 294:00 294:30 295:00 295:30 296:00 296:30 297:00 297:30 298:00 298:30 299:00 299:30 300:00 300:30 301:00 301:30 302:00 302:30 303:00 303:30 304:00 304:30 305:00 305:30 306:00 306:30 307:00 307:30 308:00 308:30 309:00 309:30 310:00 310:30 311:00 311:30 312:00 312:30 313:00 313:30 314:00 314:30 315:00 315:30 316:00 316:30 317:00 317:30 318:00 318:30 319:00 319:30 320:00 320:30 321:00 321:30 322:00 322:30 323:00 323:30 324:00 324:30 325:00 325:30 326:00 326:30 327:00 327:30 328:00 328:30 329:00 329:30 330:00 330:30 331:00 331:30 332:00 332:30 333:00 333:30 334:00 334:30 335:00 335:30 336:00 336:30 337:00 337:30 338:00 338:30 339:00 339:30 340:00 340:30 341:00 341:30 342:00 342:30 343:00 343:30 344:00 344:30 345:00 345:30 346:00 346:30 347:00 347:30 348:00 348:30 349:00 349:30 350:00 350:30 351:00 351:30 352:00 352:30 353:00 353:30 354:00 354:30 355:00 355:30 356:00 356:30 357:00 357:30 358:00 358:30 359:00 359:30 360:00 360:30 361:00 361:30 362:00 362:30 363:00 363:30 364:00 364:30 365:00 365:30 366:00 366:30 367:00 367:30 368:00 368:30 369:00 369:30 370:00 370:30 371:00 371:30 372:00 372:30 373:00 373:30 374:00 374:30 375:00 375:30 376:00 376:30 377:00 377:30 378:00 378:30 379:00 379:30 380:00 380:30 381:00 381:30 382:00 382:30 383:00 383:30 384:00 384:30 385:00 385:30 386:00 386:30 387:00 387:30 388:00 388:30 389:00 389:30 390:00 390:30 391:00 391:30 392:00 392:30 393:00 393:30 394:00 394:30 395:00 395:30 396:00 396:30 397:00 397:30 398:00 398:30 399:00 399:30 400:00 400:30 401:00 401:30 402:00 402:30 403:00 403:30 404:00 404:30 405:00 405:30 406:00 406:30 407:00 407:30 408:00 408:30 409:00 409:30 410:00 410:30 411:00 411:30 412:00 412:30 413:00 413:30 414:00 414:30 415:00 415:30 416:00 416:30 417:00 417:30 418:00 418:30 419:00 419:30 420:00 420:30 421:00 421:30 422:00 422:30 423:00 423:30 424:00 424:30 425:00 425:30 426:00 426:30 427:00 427:30 428:00 428:30 429:00 429:30 430:00 430:30 431:00 431:30 432:00 432:30 433:00 433:30 434:00 434:30 435:00 435:30 436:00 436:30 437:00 437:30 438:00 438:30 439:00 439:30 440:00 440:30 441:00 441:30 442:00 442:30 443:00 443:30 444:00 444:30 445:00 445:30 446:00 446:30 447:00 447:30 448:00 448:30 449:00 449:30 450:00 450:30 451:00 451:30 452:00 452:30 453:00 453:30 454:00 454:30 455:00 455:30 456:00 456:30 457:00 457:30 458:00 458:30 459:00 459:30 460:00 460:30 461:00 461:30 462:00 462:30 463:00 463:30 464:00 464:30 465:00 465:30 466:00 466:30 467:00 467:30 468:00 468:30 469:00 469:30 470:00 470:30 471:00 471:30 472:00 472:30 473:00 473:30 474:00 474:30 475:00 475:30 476:00 476:30 477:00 477:30 478:00 478:30 479:00 479:30 480:00 480:30 481:00 481:30 482:00 482:30 483:00 483:30 484:00 484:30 485:00 485:30 486:00 486:30 487:00 487:30 488:00 488:30 489:00 489:30 490:00 490:30 491:00 491:30 492:00 492:30 493:00 493:30 494:00 494:30 495:00 495:30 496:00 496:30 497:00 497:30 498:00 498:30 499:00 499:30 500:00 500:30 501:00 501:30 502:00 502:30 503:00 503:30 504:00 504:30 505:00 505:30 506:00 506:30 507:00 507:30 508:00 508:30 509:00 509:30 510:00 510:30 511:00 511:30 512:00 512:30 513:00 513:30 514:00 514:30 515:00 515:30 516:00 516:30 517:00 517:30 518:00 518:30 519:00 519:30 520:00 520:30 521:00 521:30 522:00 522:30 523:00 523:30 524:00 524:30 525:00 525:30 526:00 526:30 527:00 527:30 528:00 528:30 529:00 529:30 530:00 530:30 531:00 531:30 532:00 532:30 533:00 533:30 534:00 534:30 535:00 535:30 536:00 536:30 537:00 537:30 538:00 538:30 539:00 539:30 540:00 540:30 541:00 541:30 542:00 542:30 543:00 543:30 544:00 544:30 545:00 545:30 546:00 546:30 547:00 547:30 548:00 548:30 549:00 549:30 550:00 550:30 551:00 551:30 552:00 552:30 553:00 553:30 554:00 554:30 555:00 555:30 556:00 556:30 557:00 557:30 558:00 558:30 559:00 559:30 560:00 560:30 561:00 561:30 562:00 562:30 563:00 563:30 564:00 564:30 565:00 565:30 566:00 566:30 567:00 567:30 568:00 568:30 569:00 569:30 570:00 570:30 571:00 571:30 572:00 572:30 573:00 573:30 574:00 574:30 575:00 575:30 576:00 576:30 577:00 577:30 578:00 578:30 579:00 579:30 580:00 580:30 581:00 581:30 582:00 582:30 583:00 583:30 584:00 584:30 585:00 585:30 586:00 586:30 587:00 587:30 588:00 588:30 589:00 589:30 590:00 590:30 591:00 591:30 592:00 592:30 593:00 593:30 594:00 594:30 595:00 595:30 596:00 596:30 597:00 597:30 598:00 598:30 599:00 599:30 600:00 600:30 601:00 601:30 602:00 602:30 603:00 603:30 604:00 604:30 605:00 605:30 606:00 606:30 607:00 607:30 608:00 608:30 609:00 609:30 610:00 610:30 611:00 611:30 612:00 612:30 613:00 613:30 614:00 614:30 615:00 615:30 616:00 616:30 617:00 617:30 618:00 618:30 619:00 619:30 620:00 620:30 621:00 621:30 622:00 622:30 623:00 623:30 624:00 624:30 625:00 625:30 626:00 626:30 627:00 627:30 628:00 628:30 629:00 629:30 630:00 630:30 631:00 631:30 632:00 632:30 633:00 633:30 634:00 634:30 635:00 635:30 636:00 636:30 637:00 637:30 638:00 638:30 639:00 639:30 640:00 640:30 641:00 641:30 642:00 642:30 643:00 643:30 644:00 644:30 645:00 645:30 646:00 646:30 647:00 647:30 648:00 648:30 649:00 649:30 650:00 650:30 651:00 651:30 652:00 652:30 653:00 653:30 654:00 654:30 655:00 655:30 656:00 656:30 657:00 657:30 658:00 658:30 659:00 659:30 660:00 660:30 661:00 661:30 662:00 662:30 663:00 663:30 664:00 664:30 665:00 665:30 666:00 666:30 667:00 667:30 668:00 668:30 669:00 669:30 670:00 670:30 671:00 671:30 672:00 672:30 673:00 673:30 674:00 674:30 675:00 675:30 676:00 676:30 677:00 677:30 678:00 678:30 679:00 679:30 680:00 680:30 681:00 681:30 682:00 682:30 683:00 683:30 684:00 684:30 685:00 685:30 686:00 686:30 687:00 687:30 688:00 688:30 689:00 689:30 690:00 690:30 691:00 691:30 692:00 692:30 693:00 693:30 694:00 694:30 695:00 695:30 696:00 696:30 697:00 697:30 698:00 698:30 699:00 699:30 700:00 700:30 701:00 701:30 702:00 702:30 703:00 703:30 704:00 704:30 705:00 705:30 706:00 706:30 707:00 707:30 708:00 708:30 709:00 709:30 710:00 710:30 711:00 711:30 712:00 712:30 713:00 713:30 714:00 714:30 715:00 715:30 716:00 716:30 717:00 717:30 718:00 718:30 719:00 719:30 720:00 720:30 721:00 721:30 722:00 722:30 723:00 723:30 724:00 724:30 725:00 725:30 726:00 726:30 727:00 727:30 728:00 728:30 729:00 729:30 730:00 730:30 731:00 731:30 732:00 732:30 733:00 733:30 734:00 734:30 735:00 735:30 73

#### 4 連続歴史講座「海部の考古学」

- 1) 会場：愛知県埋蔵文化財調査センター  
2 階研修室

#### 2) 開催趣旨

設楽地域などの山間部の発掘調査成果との比較をしながら、海部地域の考古学情報について、6人の講師が解説。

#### 3) 内容

全て参加費無料。13時から15時。

- ・9月5日(土)：「海部の大地のなりたち」

講師：鬼頭 剛(1万年前から現代)

\*参加者総数35名

- ・9月19日(土)：「海部の黎明」

講師：宮腰健司(縄文から弥生)

\*参加者総数32名

- ・10月3日(土)：「海部の古墳」

講師：早野浩二(古墳)

\*参加者総数38名

- ・10月17日(土)：「海部の古代寺院」

講師：永井邦仁(古代)

\*参加者総数35名

- ・10月31日(土)：「海部のムラにみる物流」

講師：武部真木(中世)

\*参加者総数22名

- ・11月14日(土)：「織田氏と海部」

講師：鈴木正貴(戦国)

\*参加者総数36名

#### 4) 資料その他広報活動など

講座資料として、4頁のカラーリーフレットを作成し配布した。各講座の出席者には、関連するペーパークラフトもしくは缶バッジを配布。6講座全ての出席者には、エコバックやタオルを配布。

歴史講座の開催にあたり、近隣地区に弥富市商工観光課を通じ、回覧板を200部提出。9月上旬に回覧実施。



かつて愛知県西部には「海部国」として多くの国が並立していました。2000年(平成12年)から2006年(平成18年)までの16年間にわたる大規模な調査によって、その土地の歴史が明らかになりました。海部地域の歴史は、縄文時代、弥生時代、古墳時代、中世、近世と、長い歴史があります。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。

キーワード 縄文時代 弥生時代 古墳時代 中世 近世



縄文時代から弥生時代にかけて、海部地域にも多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。

キーワード 縄文時代 弥生時代 古墳時代 中世 近世



海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。

キーワード 縄文時代 弥生時代 古墳時代 中世 近世



海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。

キーワード 縄文時代 弥生時代 古墳時代 中世 近世



海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。

キーワード 縄文時代 弥生時代 古墳時代 中世 近世



海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。海部地域の歴史は、縄文時代から現代まで、多くの国が並立していました。

キーワード 縄文時代 弥生時代 古墳時代 中世 近世

#### ▲歴史講座の資料

## 第4回 考古学セミナー「あいちの考古学2015」の記録

**概要** 考古学セミナー「あいちの考古学」は、愛知県内外で活動する県・市町村教育委員会、公益財団法人、大学、特定非営利活動法人(NPO)、民間調査組織、研究グループなどが一同に会して、考古学に係る調査・研究成果を一般県民に公開し情報を共有することを目的として、平成24年度より毎年開催している。昨年度からは名古屋市博物館に会場を移し、下記の要綱で2日間にわたって開催し、講演、プレゼンテーション、セッション、ポスターセッションをおこなった。

- 1) 主催：愛知県埋蔵文化財センター・名古屋市博物館・名古屋市教育委員会文化財保護室
- 2) 日時：平成27年11月28日(土) 午後1時から午後4時30分、11月29日(日) 午前10時から午後4時
- 3) 会場：名古屋市博物館 講堂(プレゼンテーション・セッション・講演)・展示説明室(ポスターセッション)
- 4) 参加者数：11月28日(土) 180名、11月29日(日) 202名、合計382名
- 5) 出展団体・個人：プレゼンテーション 9、ポスターセッション 17 (エントリー制)
- 6) 講演：白石浩之(愛知学院大学教授)
- 7) セッション：伊藤正人(名古屋市教育委員会文化財保護室)、川合剛(名古屋市博物館) ほか
- 8) 配布資料：『あいちの考古学 2015』450部



▲平成27年度考古学セミナー「あいちの考古学2015」

**プレゼンテーション** 2日間に9本の発表があった。いずれも15分という制限の中で画像を用いて要点を提示している。内容は調査速報から研究や自主活動の報告まで多様である。今年度は1日目が歴史時代や窯業を中心、2日目が先史時代が中心になるようにプログラムし、連続してなされる発表によって内容が散漫にならないように心がけた。

**講演** 今年度は、白石浩之氏による講演である。愛知県域における後期旧石器時代から縄文時代草創期の様相を、岡崎市西牧野遺跡の石器群や北設楽郡豊根村茶白山遺跡・田原市宮西遺跡を例に、当時の生業にまで踏み込んで研究の最新状況を示された。特に西牧野遺跡については、地理的環境や石器石材の入手経路などの研究テーマが多数盛り込まれた県内有数の遺跡であるとの評価をされた。

**セッション** セッション1は、伊藤正人氏の司会により、名古屋市教育委員会が整理分析中の大曲輪遺跡に関する報告と討論をおこなった。同遺跡を特徴づける土器・石器・土偶・貝・骨の各遺物の様相を示し、その重要性を再認識する討論となった。

セッション2は、川合剛氏の司会により、石器石材を研究する平井義敏氏や遺跡での出土状況を分析するセンターの川添和暁による報告を基調に、討論には白石氏も加わった。旧石器時代や縄文時代の集落で出土する石器に加工するための石材がどのように移動(流通)していたのか、そしてそこからみえる地域間どうしのつながりの様相について、研究の現状と問題点の確認など、多岐にわたって議論された。

**ポスターセッション** プレゼンテーションと同時(7~8月)にエントリーを受付け、当日の会場作りと運営をしていただいた。参加は17団体で、出土遺物や最新機材の展示から資料配布や研究内容のパネル展示まで、さまざまな手法での出展となった。またプレゼンテーションやセッション登壇者も参加し、質問を受け付けたり新たな討論をおこなったりする場ともなった。

**資料集** いずれの発表・出展者にも、資料集作成のために原稿を提出していただいた。資料集はオールカラー、65ページのオンデマンド印刷とし、会場受付で参加者へ無料配布した。

平成27年度 考古学セミナー **あいちの考古学 2015**  
2015年11月28日(土) 29日(日)

愛知県内と近隣の考古学の最新情報を手に入れることができるビッグな2日間！  
各教育委員会や県民団体、市民団体などの考古学的な活動の発表会です。  
入場・聴講共に無料です。ご興味のある方、是非ともご参加ください。

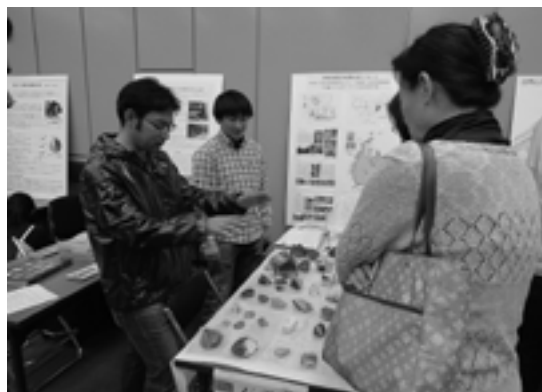
**【主なスケジュール】**

11月28日(土) 12時~18時30分  
13:00 プレゼンテーション 愛知埋蔵文化財センター・名古屋大学・愛知学院大学 ほか  
14:00 懇談会 大曲輪遺跡 堀江 幸 ほか  
15:00 センション2 「あいちの縄文時代」 堀江 幸 ほか  
(16:30 終了予定)

11月29日(日) 10時~18時  
10:00 プレゼンテーション 関 淳一 愛知学院大学・愛知学院大学 ほか  
11:20 講演 白石浩之氏 「愛知県における旧石器時代文化から縄文時代草創期にかけての様相」  
12:30 昼食 会場内 12:30~13:00 自由席 会場内  
14:00 センション2 「あいちの縄文時代」 堀江 幸 ほか  
(16:30 終了予定)

会場 名古屋博物館 講堂・展示説明室

11月27日(金) 12:00~12:30  
開場 会場内 12:30~13:00  
開場 会場内 12:30~13:00  
開場 会場内 12:30~13:00



▲ポスターセッション会場



▲セッション1

▲ポスター

## 考古学セミナー「あいちの考古学2015」プログラム

主催：愛知県埋蔵文化財センター・名古屋市博物館・名古屋市教育委員会文化財保護室

会場：名古屋市博物館 地下講堂・展示解説室

### 日 程

#### 11月28日（土） 午後1時から午後4時30分

13:00～13:10 開会（事務連絡）

13:10～13:25 「西三河山間部、郡界川流域の古代の遺跡の一樣相」佐藤公保（愛知県埋蔵文化財調査センター）

13:25～13:40 「信楽焼播鉢からみる中世伊賀の流通」水谷侃司（名古屋大学大学院）

13:40～13:55 「弥七田窯跡の発掘調査」森まどか（愛知学院大学大学院）

13:55～14:10 「犬山焼の魅力」井上あゆこ（犬山市文化史料館）

14:10～14:25 「ハスを再生して、歴史的景観を取り戻す—本證寺（安城市）の事例から—」矢田義明（本證寺ハスの会）

14:25～14:40 休憩

14:40～16:30 セッション1『大曲輪貝塚—瑞穂グラウンドの縄文遺跡—』

14:40～14:45 「趣旨説明」伊藤正人（名古屋市教育委員会文化財保護室）

14:45～15:05 「大曲輪の土器」篠嶺 茂（名古屋市教育委員会文化財保護室）

15:05～15:25 「大曲輪の石器」川合 剛（名古屋市博物館）

15:25～15:45 「大曲輪の土偶」伊藤正人（名古屋市教育委員会文化財保護室）

15:45～16:30 司会：伊藤正人 パネラー：篠嶺茂・川合剛

16:30 閉会

#### 11月29日（日） 午前10時から午後4時

10:00～10:05 開会（事務連絡）

10:05～10:20 「銅鐸とチョコレート」白樫 淳（株式会社アコード）

10:20～10:35 「萩平遺跡の発掘調査」野牧聖也（愛知学院大学）

10:35～10:50 「畑間・東畑遺跡の平成26年度発掘調査成果について」宮澤浩司（東海市教育委員会）

10:50～11:05 「西尾市羽角山古墳群の分布調査について」西松賢一郎（大口町歴史民俗資料館）

11:20～12:25 基調講演「愛知県下の旧石器時代文化から縄文時代草創期文化にかけての様相」白石浩之（愛知学院大学）

12:25～13:30 休憩

13:30～15:50 セッション2『あいちの石器時代—遺跡・石器・石材—』

13:30～13:35 「趣旨説明」川合剛（名古屋市博物館）

13:35～13:55 「愛知県を取り巻く石材環境」平井義敏（みよし市歴史民俗資料館）

13:55～14:15 「旧石器～縄文草創期の遺跡・石器・石材」川合剛（名古屋市博物館）

14:15～14:35 「縄文～弥生時代の遺跡・石器・石材」川添和暁（愛知県埋蔵文化財センター）

14:35～14:45 休憩

14:45～15:50 司会：川合剛 パネラー：白石浩之・平井義敏・川添和暁

16:00 閉会



▲ブース⑦



▲ブース⑮



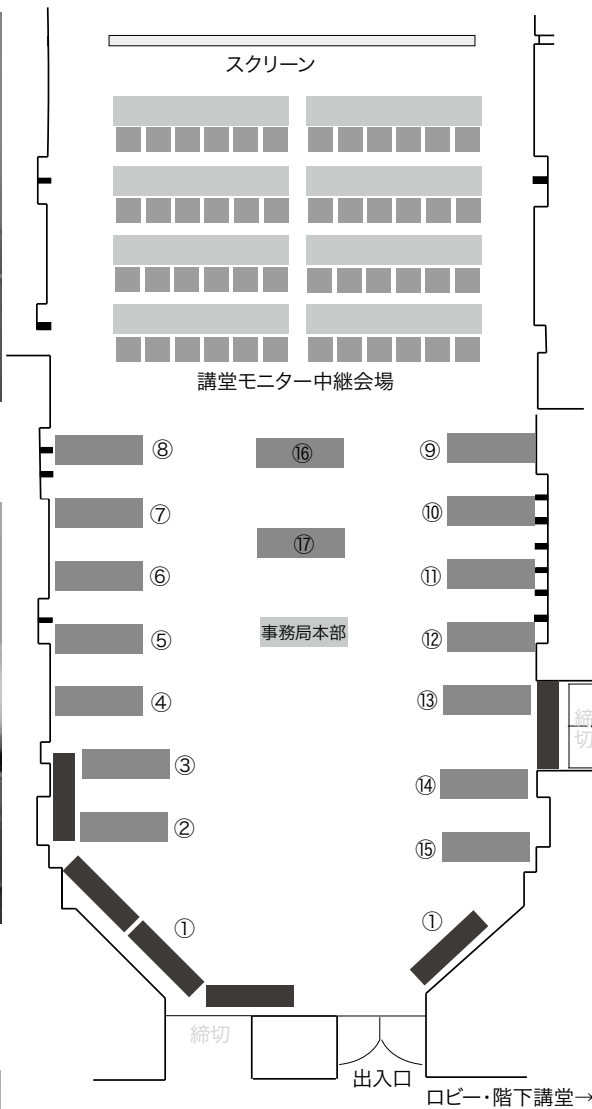
▲ブース②



▲ブース⑭



▲ブース① 愛知県埋蔵文化財センター「設楽地域の発掘調査成果」



## 平成27年度考古学セミナー 『あいちの考古学2015』

ポスターセッション会場配置図  
(展示説明室)

- ① 愛知県埋蔵文化財センター  
「設楽地域の発掘調査成果」
- ② 田中城久  
「大府市の灰釉・山茶碗窯跡」
- ③ 吉田真由美・藤原秀樹  
「河曲郡衙と伊勢国分寺」
- ④ 片桐妃奈子  
「東山72号窯出土遺物分析」
- ⑤ 松葉竜司  
「興道寺廃寺の花粉分析」
- ⑥ 平井義敏  
「設楽地域の石器石材について」
- ⑦ 羽角山古墳群PT  
「西尾市羽角山古墳群分布調査」
- ⑧ 青木修  
「犬山焼の魅力」
- ⑨ 永井伸明  
「畑間・東畑遺跡の平成26年度発掘調査」
- ⑩ 西村誠治  
「ICTを使った情報発信」
- ⑪ 加藤達  
「遺構および遺物実測方法提案」
- ⑫ 大西遼  
「古墳時代後期ガラス玉製作技法」
- ⑬ 鈴木恵介  
「古墳時代後期ガラス玉製作技法」
- ⑭ 小林克也  
「放射性炭素年代測定と酸素同位体比測定」
- ⑮ 白樫 淳  
「銅鐸とチョコレート」
- ⑯ 林 浩己  
「愛知県史のご案内」
- ⑰ 考古学フォーラム  
「考古学フォーラムのご案内」

**アンケート結果** 当日、会場で参加者へのアンケートを実施した。アンケート用紙は受付で資料集とともに350枚配布し、同所のボックスに108枚の回答が得られた。

回答者の半数(54名)が名古屋市内からの参加で、県内からの方も合わせると9割になる。またこのイベントを知ったのはチラシが54名と最多であったが、名古屋市内の図書館など諸施設で配布されていたのが大きいと思われる。その一方でセンターのホームページやツイッターといった媒体で情報を得た方も多くいて、この両者が広報の柱であることが再認識された。次いで参加者の年齢構成では、50歳以上の世代(50～60代が47名、70代以上が29名)が圧倒的であり、考古学ファンの中核となっている点は例年どおりである。ただし出展者やその関係で大学生10名も回答しており、県内外の大学に設置された研究室や講座に所属する若手世代も重要な存在である。また、かつて考古学や歴史学を学んだ方々が高齢になって再び興味や関心を持つということもあり、現役時代に一旦考古学から遠ざかった人々が「復帰」する場としても本セミナーが有効であると考えられる。

今回初めての試みとして、発表内容のなかでもっと知りたい、または行ってみたい遺跡について複数回答でたずねてみた。圧倒的であったのが名古屋市大曲輪貝塚(44名)、次いで後期旧石器時代から縄文時代草創期を対象とした講演(39名)であった。また設楽地域の遺跡群(21名)、設楽地域の石器石材(21名)など、セッションのテーマに加えてポスターセッション会場にも出展したことで注目を集めた発表内容もある。同様に「溶結凝灰岩」・「斜状平行剥離」・「石器の流通」・「笹平遺跡」など印象に残ったキーワードも挙げられている。その一方で、放射性炭素年代測定と酸素同位体比測定(17名)のような、メディアで頻出する科学分析にも注目が集まっている点は、考古学関連の情報に対してどのようなニーズがあるのか、発信者側が常に意識しておかねばならないといえる。

**今後に向けて** 考古学セミナーは、当初プレゼンテーションの場を中心として発足しており、今回も講演やセッションも合わせてプレゼンテーション会場は終日盛況であった。このように考古学や埋蔵文化財の行事は座学的なものを柱としているが、ポスターセッション会場で繰り広げられる参加者どうしのやりとりは、考古学的な情報の発信が確実に双方向になっていることを示している。そのやりとりが新たな成果を生む契機をなすことを期待したい。またそれに伴ってより展開のしやすい会場づくりを出展者とともに起こっていく必要がある。現状で出展者どうしは「一期一会」的な集まりであるが、実行委員会として継続的な活動のできる場へと進化させていくべきである。

(永井邦仁)

#### ▲今年度セミナーのロゴデザイン



▲セッション2



▲プレゼンテーション会場